

一選挙結果一

第17期日本気象学会北海道支部役員選挙結果

平成2年6月4日札幌管区気象台にて開票の結果、投票総数171票、有効票数169票、無効票数3票により、次の各氏が当選しました。(50音順)

理事

遠藤辰雄(北海道大学低温科学研究所)
菊地勝弘(北海道大学理学部)
北出武夫(札幌管区気象台)
伝法宏(日本気象協会北海道本部)
二宮洗三(札幌管区気象台)
松田一(札幌管区気象台)
村上律雄(函館海洋気象台)

会計監査

桜井兼市(北海道教育大学旭川分校)

一役員会報告一

平成元年度役員会報告

1. 平成元年度第1回理事会(「細氷」35号119~120頁に報告済)

2. 平成元年度第2回理事会(平成元年10月13日、於札幌管区気象台)

出席者：黒沢、中山、菊地(弘)、伝法、菊地(勝)、遠藤、上田、児玉、足立、川野

(1) 平成元年度の事業中間報告がなされた。

(2) 夏季大学講座について遠藤理事から以下のように報告された。

ア. 40名の受講者があり、おおむね好評であった。

イ. アンケート中に講義室の問題を指摘するものがあったので将来会場の変更等を検討する必要がある。

(3) 細氷について児玉幹事から以下のような報告があった。

ア. 夏季大学テキスト写真製版したので、発行が遅れたが印刷費は安くなった。

3. 平成元年度第3回理事会（平成2年3月19日、於札幌管区気象台）

出席者：二宮、中山、菊地（勝）、遠藤、桜井、上田、児玉、足立、石原

(1) 理事の補充及び支部長交替

3月1日付で転出した黒沢支部長に替って二宮会員（札幌管区気象台長）が理事に推薦され承認された。つづいて、二宮理事が支部長に互選された。

(2) 報告事項

ア. 中山理事より、地方講演会が網走市民会館において200名の参加者を得て、予定通り終了したとの報告がなされた。

4. 足立幹事から会計中間報告があり、桜井監査から中間監査報告があった。

(3) 審議事項

ア. 平成2年度の地方講演会は、室蘭か苫小牧で行なうよう準備することが決められた。

イ. 川野幹事にかわって石原会員が幹事に指名された。

4. 平成2年着第1回理事会（平成2年6月12日、於札幌管区気象台）

出席者：二宮、北出、松田、伝法、菊地、遠藤、上田、児玉、足立、石原

(1) 第17期役員選挙の開票結果が上田幹事長により報告された。

(2) 理事の互選により、二宮理事が支部長に、また、菊地理事、遠藤理事、北出理事、松田理事が常任理事に選ばれた。

(3) 新支部長のあいさつの後、支部長から、幹事として上田、児玉、足立、石原の4名が指名された。

(4) 理事・幹事の業務分担が次のように決定した。

理事 企画担当：伝法、菊地

講演担当：北出

細氷担当：松田

夏期大学担当：遠藤

幹事 幹事長：上田

細氷編集：児玉

庶務会計：足立、石原

(5) 平成元年度 事業報告、会計報告、会計監査報告が、上田幹事長、足立幹事、桜井会計監査からなされた。

(6) 平成2年度事業計画案が審議され、以下のことが決まった。

ア. 6月19日に支部総会と平成2年度第1回支部研究発表会を行なう。第2回支部研究発表会は10月下旬に行なう。

イ. 夏季大学を7月27日に札幌管区気象台で、7月28日札幌市青少年科学館で行なう。講師は太田幸雄、北出武夫、桜井兼市、小島修の4名に依頼する。

ウ. 地方講演会は室蘭で行なう。

(7) 平成2年度の予算案が足立幹事より説明され、承認された。

(8) 支部総会において、幹事1名増員の規約改正を提案する。

一支部役員一

平成2年度日本気象学会北海道支部役員

支 部 長 二 宮 洸 三 札幌管区気象台長

常任理事 北出武夫 札幌管区気象台技術部長

常任理事 菊地勝弘 北海道大学理学部教授

常任理事 松田 一 札幌管区気象台調査課長

常任理事 遠藤辰雄 北海道大学低温科学研究所助教授

理 事 伝法宏 日本気象協会北海道本部長

理 事 村上律雄 函館海洋気象台長

会計監査 桜井兼市 北海道教育大学旭川分校教授

幹 事 長 上田 博 北海道大学理学部

幹 事 足立孝幸 札幌管区気象台調査課

幹 事 石原洋 札幌管区気象台予報課

幹 事 児玉裕二 北海道大学低温科学研究所

幹 事 若林徳司 日本気象協会北海道本部

札幌管区気象台：(代) 011-611-6121

函館海洋気象台：(代) 0138-46-2111

北海道大学：(代) 011-716-2111

日本気象協会北海道支部：(代) 011-621-2456